

有機農業

農薬・化学肥料の不使用・使用低減

温室効果ガスの削減・吸収

スマート農業省力化技術

食品ロス削減

国産、地場産の供給拡大

その他

hiko farm (茨城県常陸大宮市)



【生産概要】 (令和4年産) いちご (とちおとめ) 31a (うち育苗 5a)
トレビス 10a

【経営概要】 令和3年新規就農、作業従事者(4名)

代表者: 彦田 真吾

野菜の生産・販売

【販売概要】 ハウス脇テントで直売、県内・都内レストランへの販売、JA経由で市場へ販売



■ 取組の特徴と効果

特徴: 地温の低下は収量に影響するため、「糖蜜」を投入し土中の微生物の働きを活性化させ、地温を上げている。

近所の「常陸牛」肥育農家の牛ふん堆肥を自分で運搬し投入している。

IPM(総合的病害虫・雑草管理)を実践するとともに、定植前の炭酸ガス防除も行い環境と人に優しい農業を実践している。

自動で灌水と施肥が行えるシステム(※)と温度・湿度・二酸化炭素濃度を測定する自動センサーを導入している。

効果: 「糖蜜」の費用は暖房の重油代に比べて安い。また、地力の向上が期待でき、病気を抑制する効果も期待できる。(※)自動システム
スマート農業の実践で良品ないちごを効率的に栽培し安定生産ができる。

☆第10回「茨城いちごグランプリ」一般の部 金賞受賞

■ 農業の魅力と課題

魅力: 栽培管理はやりすぎもやらなすぎもダメ、適正な幅に合わせる事が難しいが、農業は面白い。

課題: ブランド力の向上と化学農薬・化学肥料をどのように最小限の使用量にしていくかが今後の課題。

■ 今後、取り組みたいこと

- ・経営規模を拡大したい。
- ・いちごを活用した加工品の生産販売や、ヤギと羊を飼育しているので乳製品の販売など6次産業化に取り組んでいきたい。
- ・海外旅行など自分の世界観を広げる時間を増やしたいので、法人化し組織運営していくことが目標。



所在地: 茨城県常陸大宮市三美259-2
電話番号: 080-3706-1583

Instagram
QRコード



@HIKOFARM_ICHIGO